

アゴラ通信 No.257

2016年 5月

〒631-0812 奈良市秋篠早月町 10-10-408

TEL/FAX 0742-93-3485

URL/ <http://www1.kcn.ne.jp/~agora/>

↑ アゴラ通信バックナンバーは上記 HP でご覧下さい。

認定 NPO 法人アゴラ音楽クラブ

URL/ <http://www.agora-mc.com/>

 <http://www.facebook.com/agoramusicclub>

夏も近づく八十八夜

花の季節が終わるか終わらないうちに、なんだか魔法にかけられたように新緑の季節になっていました。通勤途中にある大きなツツジの木が突然満開になっていてビックリ！あまりの見事さに思わず足を止めて撮影しました。



アゴラ通信 256 号の CONTENTS

- ・ ツーリーの
続「こんな台湾を知っていますか？」 (59)
- ・ インドネシアよもやま話 (3)
- ・ パソコンであんなことこんなこと (74)
- ・ Leaf' s “English at a glance” (95)
～staycation～
- ・ アレルギーの診察室から (59)
～茶の文化史～
- ・ ドイツだより (特別編)
- ・ Marikolog
- ・ あとがき



ツリーノ

続「こんな台湾を知っていますか？」⑤9

並木由香

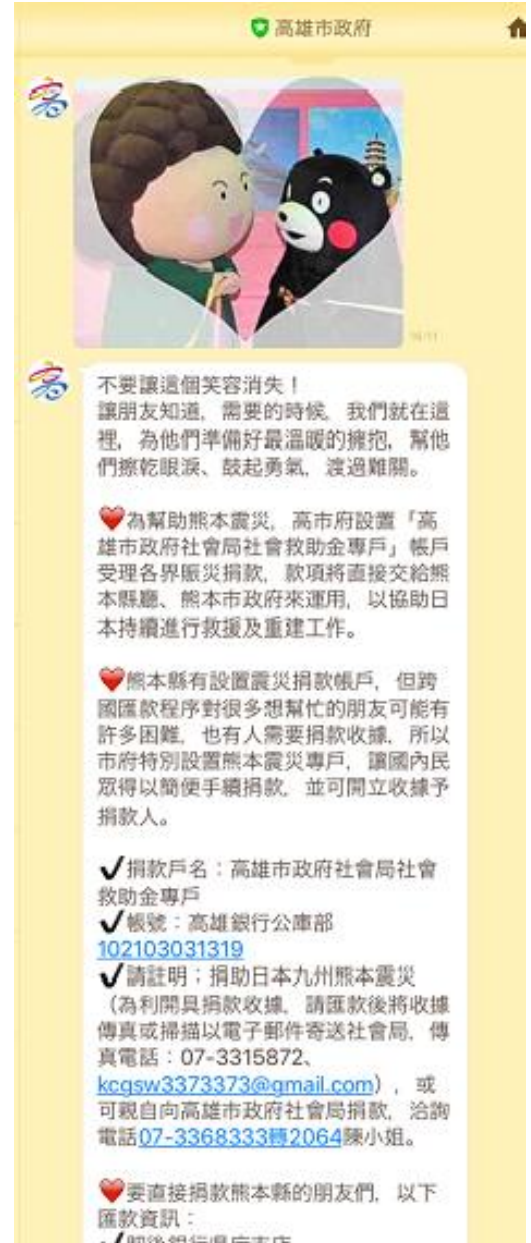
熊本平安 大家平安(熊本の皆さまの平安をお祈りいたします)

右の写真は、4月16日に発信された、高雄市政府のLINE公式アカウントのトーク画面です。高雄と熊本は友好都市で、くまモンも高雄を訪問したことがあります。陳菊高雄市長のゆるキャラ「花媽（ホアマー）」と友好を深めた時の写真を掲載し、「この笑顔を失わせてはいけない！必要な時には私たちはここにいます。熊本のために温かい抱擁をし、涙を拭いてあげ、勇気を奮って、難関を乗り越えていく準備ができていることを伝えよう。」という心強い言葉とともに、熊本震災への義捐金を募っています。海外送金の手続きの手間を省いて、一人でも多くの市民の協力を得やすくするために高雄市政府が窓口になる他、直接熊本県に送金したい人のために、熊本県の口座も紹介されています。陳菊市長は自らが率先して一か月分の所得を寄付し、各部署には各種救援作業の準備をするよう指示したとのことです。

高雄市政府は普段からLINEを使って、断水や通行止めのお知らせ、市内で催されるスポーツ、コンサート、イベントの宣伝など、市民に必要な情報を頻繁に発信しています。

高雄では、今年2月6日に高雄市美濃（客家の里として有名な所）を震源としたマグニチュード6クラスの大きな地震がありました。地震発生当初、日本では、高雄で大きな地震があった、とだけ報道され、詳細は不明だったので、すぐに范教育局長（范巽綠さんは一昨年12月に教育局長に就任されました。）に安否を尋ねたところ、ちょうど旧正月の休暇で陳菊市長も一緒に国外にいて、無事とのことでした。空港での乗継の時に地震の知らせが入ったため、市長だけは、そこから直ちに高雄へ引き返され、陣頭指揮にあたられたそうです。

実際の被害は、震源の高雄市よりも、台南市の揺れが大きく、マンションが横倒しになって115人の方が命を落とされるなど、大きな災害になりました。この震災の時、高雄市も台南市も、LINEを上手く活用し、情報を市民に広く発信しました。どこの水道管が破裂して、いつ修復されるとか、血液が不足しているから、どこへすぐ献血に来て欲しいとか、懐中電灯と、単三、単四の乾電池がどのくらいの数必要だとか、どこの避難所の食べ物は足りているから大丈夫だとか、必要なところに必要なものがすぐ届くように情報を共有しました。日本ではスマホを持っている人は多い割に、あまり使いこなせていない人が多いようですが、日本の自治体も万が一に備えて、こういう便利なツールを活用すればよいのになあ、と思います。今年78歳になる私の母ですら、タブレット端末でLINEやスカイプを使いこなす、そんな時代になったのですから。



新台幣(ニュータイワンドル)

お金のお話が出たので、台湾の通貨「新台幣（シンタイビー）」についてご紹介します。

海外旅行に外貨両替はつきものですが、台湾旅行の際は、日本国内では両替をせず、日本円を持って出国し、台湾に到着してから両替なさることをお勧めします。日本の銀行では、手数料無料と書かれていても、実際は手数料分をレートに上乗せしてあるので、両替金額が高額になるほど、手数料を沢山払うことになります。一番お手軽でお得なのは、台湾の空港内にある銀行での両替です。空港内の銀行では、どの銀行も両替金額に関係なく、日本円から台湾元への両替手数料は一回につき一律 30 元（約 100 円）です。同行者全員の両替をまとめて一度で済ませれば、支払う手数料は一人あたりたった数十円で済みます。日本の手数料との差額は、おそらく豪華な台湾グルメが堪能できるくらいあると思います。（台湾元から日本円への両替手数料は 100 元です）

台湾には 100 元、500 元、1000 元、2000 元の他に 50 元、200 元紙幣があるそうですが、私はまだ 50 元、200 元紙幣を見たことがありません。50 元紙幣は実は紙ではなくプラスチック幣だそうで、どんなものなのか一度見てみたいと思っているのですが、台湾で生活していても 50 元、200 元、2000 元札は殆ど見かけないそうです。台湾の空港で両替すると、100 元、500 元、1000 元紙幣しかくれません。10 万円両替したら 1000 元札を 30 枚もくれるので、何だか急にお金持ちになったような気分になりますが、正直、かさ張ります。両替の際に「2000 元紙幣にしてください。」と言えば、そうしてくれるのですが、2000 元紙幣は自動販売機では使えませんし、お店によっては、2000 元紙幣は受け取らない所もあるそうです。お店で使える場合でも、店員さんが、まさか偽札じゃないだろうな、と疑いの眼差しで、お札を透かしてマジマジと確認します。1000 元紙幣で支払っても透かしを確認されることは珍しいことではありませんが、2000 元紙幣は殆ど流通していないので尚更の様です。日本では、支払った紙幣を透かして確認されたことがないので、最初は「えっ？ ひょっとして私、今、疑われているの？」と、後ろめたいことは何もないはずなのに、なぜかドキドキしましたが、やっと最近は慣れました。因みに 2000 元紙幣はアンテナ、ロケット、台北貿易センタービルの図柄、1000 元紙幣は教育がテーマの図柄、500 元紙幣は台東の原住民であるブヌン族の「紅葉少年野球団（西武ライオンズの名投手、郭泰源さんが所属していたチーム）」がデザインされています。お札によくある歴史上の偉人柄は、100 元紙幣の孫文と 200 元紙幣の蒋介石だけです。ではこの辺で、再見！！

臺灣銀行高雄國際機場分行 BANK OF TAIWAN FOREIGN CURRENCY EXCHANGE MEMO		
買入 外幣金額 BUY Foreign currency Collected	JPY 110,000	請點清現金 Please Confirm Your
匯率 RATE	0.27860	ご両替金内容を 若有任何疑问可 Please Contact
新台幣金額 N.T. \$ Equivalent	30,646	問題かあたら次
手續費 CHARGE	30	E-mail Address Tel. No : 886-7
實付新台幣金額 Net N.T. \$ Payable	30,616	
2013/12/27 15:31:56 外國		



インドネシアよもやま話

サポート 21・なら

馬郡 繁

第3回 お手伝いさん(メイド)の話

インドネシアでの駐在生活を語るには、お手伝いさん(メイド)と運転手が不可欠です。この二人が生活の質を左右します。幸い私は、どちらもいい人に恵まれて、嫌な思いをすることなく、気持ちの良い駐在生活を送る事ができました。特に運転手は赴任から離任するまで、同じ人がやってくれました。

お手伝いさんの話に入る前に、前回のアパートの所で書き足りない所がありました。インドネシアのアパートには、大抵「メイド部屋」が付いています。普通はキッチンの奥にあり、貯湯タンクや配電盤などがある、いわゆるバックヤードにあります。3畳程度の小部屋にベッドと作り付けのダンスがあります。トイレと水浴び場が別にあります。インドネシア人はお風呂ではなく、「マンデイ」と呼ばれる水浴びをします。50 リットルくらいの水を溜める水槽があり、そこから手桶で水をすくって水浴びをします。エアコンはついていません。メイド用の出入り口もここにあります。居住者の玄関とは別になっています。エレベーターも居住者用ではなく、貨物用のエレベーターを使用します。



我々の居室部分と比べると、かなり環境は悪いのですが、インドネシア人の一般家庭よりはるかに良い環境なので、アパートでの住込みは、お手伝いさんにとって人気があります。まして、私の様な単身赴任者は、家族帯同の人に比べると、仕事の量は少ないし、自由時間は多いので条件的にはとても良いのです。当時、ジャカルタで一番多い外国人は、韓国人で日本人は2番目でした。韓国人は、人使いが荒いのと給料が安いので、おとなしくて、給料の良い日本人は人気があります。お手伝いさんの間でも日本人の家に雇われている

と言うのは、一種のステータスにもなっているようです。住込みのお手伝いさんは、ほとんどが中部ジャワやスマトラなどの田舎からの出稼ぎです。(写真は、ジャカルタ周辺の普通の民家です)

1回目に書いた様に、炊事・洗濯・掃除などまったくやったことのない(出来ない)私が、5年近く単身赴任で駐在生活を送れたのは、すべてお手伝いさんのおかげです。本当にありがたかったです。煩わしい家事の心配をすることなく、仕事と遊びに専念できるというのは、他の国の駐在員からは、ずいぶん羨ましく思われました。海外を何か国も経験している商社の人からこんな事を言われました。「インドネシアは駐在員の天国やで。いろいろ回って最後に来る所や。あんたみたいに、最初にここ



に来たら、もうほかの国には行けんで」。私は、もうほかの国には行く積りはありませんでしたから、目いっぱい楽しませてもらう事にしました5年近くの単身赴任で二人のお手伝いさんの世話になりました。一人目の人は、アパートを替わる時に引っ越すのは嫌と言うので、替わりました。

名前はスミ (Sumi) さんと言います。(前ページ下の写真) スミさんとは気どころも通じて、すべてを安心して任せられました。以前、日本人家族の所で、長年住み込んでいた人なので、日本料理は一通り出来ました。ただし、日本語はあいさつ程度しか出来ません。それでも、「いってらっしゃい」「お帰りなさい」と言ってくれるとうれしいものです。スミさんとの会話は片言のインドネシア語になります。時には、辞書を片手に筆談で必要な単語を書いて伝えました。



スミさんはイスラム教徒なので毎日5回のお祈りをします。朝のお祈りは4時半ごろなので、お祈りが終わってから朝食の準備をしていた様です。朝食後、6時15分頃が出勤の時間です。私は忘れ物が多いので、「お弁当・ハンカチ・メガネ・携帯 OK?」とチェックしてくれます。靴も朝食中に磨いておいてくれました。特に昼食の約束などない日は、スミさんの作ってくれたお弁当を持って行きます。昔流行った「ランチジャー」というご飯とみそ汁が保温できる大きなものです。お昼は、日本人スタッフと打ち合わせをしながら食べるのが普通です。みんな、それぞれのお手伝いさんの作ってくれたお弁当です。(写真は通勤途上の田園風景です)

私が出勤した後に、洗濯と部屋の掃除をしてくれますが、私の様な単身者の洗濯物などは、少ないですから、夕食の支度まではほとんどが自由時間です。夕食は、8時から9時の間位ですが、実働ではせいぜい3-4時間だと思います。洗濯物には全部アイロンを掛けてくれます。最初、パンツにもアイロンが掛かっているの、びっくりしましたが、以前の日本人の奥さんから教えられたそうです。どうも、アイロンで熱消毒する意味もある様です。買い物は週に1回、日本の食材を扱っているスーパーに行ってもらいます。野菜や果物は、近くの地場の市場へ行ってくれます。また、スーツやズボンなどは、クリーニング店へお使いに行ってもらうこともあります。

スミさんは私の事を「トゥアン」と呼びます。メイドとえば「ご主人様」と思われますが、「旦那さま」と訳するのが自然かと思えます。インドネシア語の中でも心地よい響きで、好きな言葉のひとつでした。日本の会社にいる女子社員達にお手伝いさんと二人でアパートに住んでいる事が知れ渡ると、それは、それはたくましい想像力でいろいろな心配をしてくれたものでした。写真を送ってと言われたので、インドネシアのアイドルの写真をメールで送ったら、大騒ぎになったのも、懐かしい思い出です。(笑) (写真は庶民の足であるベチャと呼ばれる3輪車です)



パソコンであんなこと、こんなこと

 ハロー! パソコン教室 小林 俊彦

皆さん、こんにちは。ハロー！パソコン教室 富雄校の小林です。早いもので今年もうゴールデンウィークですね。今年は5月2日と6日にお休みを取ると10連休になるとかで、海外旅行に行かれる方も多いようです。私はというと・・・、ハロー！パソコン教室 富雄校はカレンダー通りの営業で土曜日はお仕事ですので連休は3～5日の3連休のみということになりました。

それでも4月29日のみどりの日には、教室に出てきて普段できない大掃除。ほぼ物置と化していたスタッフルームのお片付けをしました。すると懐かしいものが色々とでてきました。写真の左上は開校当初に使っていた教室のゴム印。しばらく使っていましたが、ネットでシャチハタの印鑑が作ることができることが分かって作ってから現役引退していました。

写真右上はサラリーマン時代に買ったデジカメ。縦長の今では珍しいタイプですが、富士写真フイルムのFinepix4800Z。当時結構高かったんですよ。今でも使えますが、手振れ防止機能などがついていませんので、アップの写真を撮るのは結構大変です。そう言えばサラリーマン時代にはデジカメの販売の際に、手振れしない撮り方なんてことをレクチャーしていたことがあります。



写真左下はノートパソコン用のLANカード。今ではパソコンにLANボードが内蔵されているのは当たり前になりましたが、開校当初に使っていたWindows98のパソコンはLANボードが内蔵されていなかったもので、このLANカードを挿して使っていました。今では逆に貴重品かもしれませんね(笑)。使う人はいないでしょうけど・・・

最後に写真右下はPhotoshop Elements Ver. 2.0のインストールディスク。現在AdobeがリリースしているPhotoshop ElementsはVer. 14です。でも開校当初はこのバージョンでレッスンしていたんですよ。懐かしいです！

とにかくスタッフルームの大掃除は無事終了しましたので、これからは散らかさないように気をつけていきたいと思います！そして気分一新して頑張っていきます。

【Windows10】

Windows10への無償アップグレードの期限は、7月29日になっています。期限もあとわずかになってきています。Windows10へのアップグレードを考えている方はそろそろ準備を始められた方が良いでしょう。特に終盤になりますと、アップデートされる方が多くなりサーバーが混雑する可能性も考えられますので、ご注意ください。

今回は前回の続きでWindows10へのアップグレードの際に注意していただきたい事柄についてご案内させていただきます。

プロダクトキーの確認

前回パソコンメーカー、周辺機器メーカーのサポートページでアップグレードに関する情報を確認いただくことをご案内しました。今回はご自身のパソコンで確認いただきたい事項からご案内します。

まずご自身のパソコンで確認いただきたいことは、プロダクトキーの確認です。パソコンの側面や背面に右の写真のようなシールが貼り付けてあるか確認してください。新品でWindows7やWindows8のパソコンを購入された場合は、ご自身ではがしていない限り貼ってあるはずです。このシールに書いてあるのがプロダクトキーです。Windows10へのアップグレードでは、ごく稀にライセンス認証がうまくいかずにプロダクトキーの入力を求められる場合があるようですので、安心のために確認しておいてください。



ハードディスクの空き容量を確認

Windows10にアップグレードするには32bit版で16GB、64bit版では20GBの空き容量が必要となります。ご自身のパソコンのCドライブの空き容量を確認して、空き容量が少ない場合は不要なファイルの削除や、不要なアプリケーションのアンインストールを行って空き容量を確保する必要があります。ただし最低限の空き容量だけではインストール後にソフトをインストールできなかったり、動作ができなくなったりする場合もありますので、空き容量は余裕を見ておかれることをお勧めします。

できればデータのバックアップを

Windows10にアップグレード後も31日以内であれば、基本的には元のOS(アップグレード前に使っていたWindows)に戻すことが可能です。32日目以降に不具合が発生した場合などで元のOSに戻すことができなくなった場合、さらに何らかの理由で元に戻してもうまく戻りきらずうまく動作しない場合に備えて、できればハードディスクごとイメージバックアップできるソフトでディスクごと外付けハードディスクなどにバックアップしておくことをお勧めします。最低でも自分で作られた文書やデジカメ写真、メールやアドレス帳はバックアップしておく方が無難です。

リカバリーメディアの作成

最近のパソコンではハードディスクにリカバリー(購入時の状態にパソコンを戻す)のための領域があり、リカバリー用のDVDなどのメディア(再セットアップディスク)が無い場合が多いです。万一のためにリカバリー用のメディアを作っておいてください。(リカバリーディスクの作成方法は、パソコン購入時についていた「ユーザーズマニュアル」等に記入されている場合が多いです)

不要なソフトウェアのアンインストール

パソコンの中にはプレインストール(購入時に最初からインストール)されているソフトウェアが結構たくさんあります。また使用していく中で知らない間にインストールされたソフトウェア(Webブラウザのアドオンなども含みます)もそれなりにある場合があります。これらの中で自分が使用しないソフトウェアは全てアンインストールしておく方が無難です。

ここまでの準備ができればWindows10へのアップグレードのための最低限の準備はOKです。また弊社のホームページでもこれらの手順をご案内させていただいておりますので、よろしければご覧ください。

<http://www.e-aid.info/Win10UpdatingNotice.html>



ハロー!パソコン教室 富雄校

〒631-0076 奈良市富雄北1丁目12-4 アゴラハイム1F

TEL (0742) 46-4186 (ヨイハロー)

e-mail : info@hello-pc.co.jp

URL : <http://www.hello-pc.co.jp/>

Leaf's "English at a glance" 94

Larry Dodds / 西潤子

Staycation

教室関係の仕事は、3月や4月にたくさんの生徒さんが入れ替わりますので、非常にバタバタとします。ふと気が付くと、もうゴールデンウィーク。気候も良くなり、ようやく一息つけるので、ちょっと旅行でも、と思っても、もう遅い。前もって予約など入れている余裕などなかったため、今更行ける場所もなく、結局、家や近場でぼんやり過ごすことになります。これではダメだということで、夏に向けて今から何か楽しい計画を！と思いきや、今年は高校3年生と中学3年生を抱える我が家。ああ、しばらくはバケーションとは程遠いストレスを溜めるばかりの日々が続きそうです。

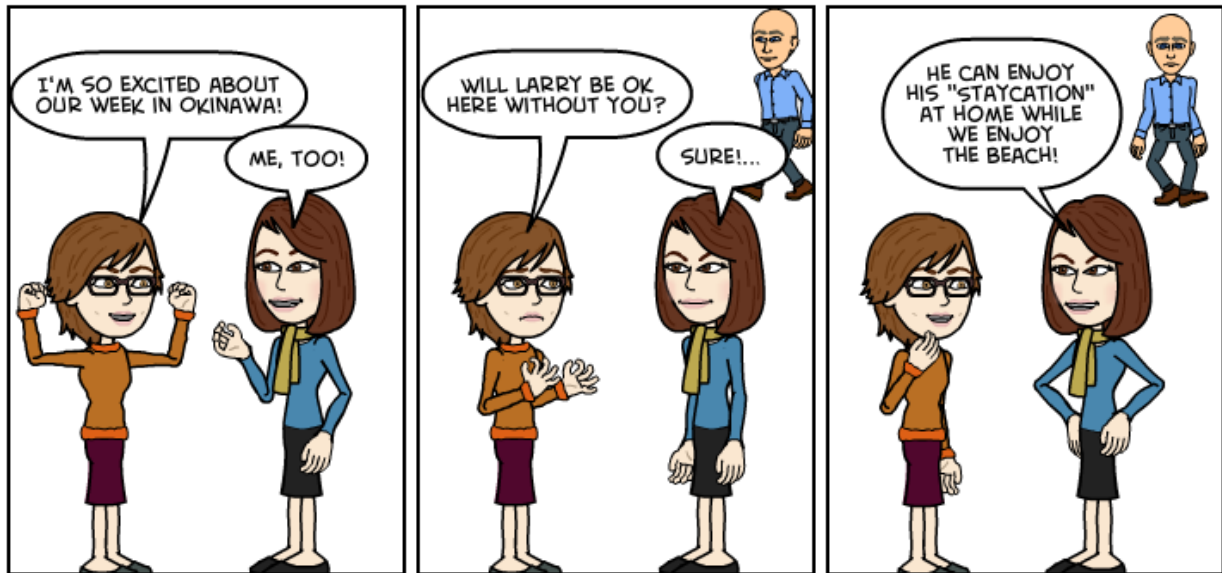
ではまず、今日の会話文から見ていきましょう。

conversation – (with your friend)

- A: Do you have any plans for your summer vacation this year?
B: We might go camping for a few days. How about you?
A: I'm really tired and I don't want to do anything. I'm going to stay home, watch TV, and take a nap every day.
B: It sounds good. A staycation is better than traveling when you need a rest.
A: I think so, too. I hope my husband goes somewhere so I don't have to cook!
B: Good luck!

友人二人の会話です。Aさんが、「今年の夏休みは、何か計画しているの？」と聞き、Bさんが、「2、3日、キャンプに行くかもしれないわ。あなたは？」と尋ねます。Aさんは、「もうクタクタだから、何もしたくないのよ。毎日、家にいて、テレビ見て、昼寝でもするわ。」と答えています。Bさんは、「それ、いいかもね。」と言い、その次に今日の表現を使っています。Staycation とは、言い換えると、“a vacation spent at home (stay at home vacation)” という意味になります。自宅に stay したままの vacation なので、staycation というわけです。日本語で一言では言い表せないで、ここでは、そのまま「ステイケーション」と訳しておきます。「休息が必要な時は、旅行するよりステイケーションの方がいいわよね。」とBさんが言い、Aさんも、「私もそう思う。」と答え、その後に、恐らく多くの妻が望んでいることを言っているのけています。「うちの夫がどこか出かけてくれたらいいんだけど。そしたら、料理しなくて済むし！」Bさんも、「そうなるように幸運を祈ってるわ！」と答えています。

では、今日のコミックです。



【1コマ目】私の友人が、「私たちの沖縄での一週間、わくわくするわ!」と言い、二人での休暇を楽しみにしている様子です。【2コマ目】友人が、「ラリーは、こっちであなたなしで大丈夫?」と心配してくれています。私は、「もちろんよ!」と笑顔で答えています。【3コマ目】「私たちがビーチで楽しんでいる間、ラリーは家でステイケーションを楽しめばいいの!」と、二人で意地の悪い笑いを浮かべています。

読者の皆さまは、このゴールデンウィークをどのようにお過ごしでしょうか。ご旅行などされる方は、是非楽しんで行ってきてください。私たちは、海外旅行にいつか行ってやるぞと夢見つつ、庭の手入れや納屋の整理など日頃おろそかになっている雑用を片付けながら、ステイケーションとさえ呼べない休暇を過ごしていることと思います・・・。



奈良市富雄元町2丁目5-20(トミオプラザビル1F)

tel:0742-52-3933 fax:0742-52-3934

アレルギーの診察室から 58

— 茶の文化史 —

土居 悟



連休を利用して京都の東福寺に行ってきました。通天橋は新緑に包まれていて絶景です。特別拝観で法堂（はつどう）と禅堂の内部が公開されていました。禅堂は1347年再建で、わが国最古最大の座禅道場だそうです。そのあと、方丈の八相の庭を拝観しましたが、ちょうどコマーシャルの撮影を行っていて、拝観者にご迷惑をかけて申し訳ないということで、拝観料は無料になっていました。枯山水庭園を前にして着物姿の

女優さんとお茶のペットボトル。お茶のコマーシャルとお見受けしましたが、さてどんなセリフのコマーシャルなのでしょうか。

お茶といえば千利休ということで、別の日に堺の千利休屋敷跡を訪ねました。その石碑には、千利休の祖父は室町時代の将軍、足利義政の同朋衆であった千阿弥ですと書いてありました。さてその同朋衆についてですが、村井康彦さんの『茶の文化史』（岩波新書）を読みますと、中世文化と同朋衆についての記載がありました。そのルーツは、鎌倉最末期から南北朝にかけて武将に同道した時宗の従軍僧に求められます。従軍して、戦傷者の治療や戦死者の葬礼を行いました。そして室町時代の初期に、幕府の職制に組み込まれ、その名称は宗教的意味をもつ阿弥号で呼ばれました。しかし、阿弥号をもつものがすべて同朋衆ではなく、猿楽の観阿弥、世阿弥は同朋衆ではありませんでした。室町時代の同朋衆の仕事は使い走りから、茶の湯、立花にいたるまで多様でしたが、そのなかから一芸に秀でたものがでて文芸、芸能活動を行っていました。

村井康彦さんは、千利休の祖父が千阿弥であるということに異論があり、一族に千阿弥がいただけだと説明しています。ともあれ千利休というと、その頃海外貿易で非常に豊かであった堺の町衆出身であったことがまず思い浮かびますが、町衆の趣味・教養の背景に阿弥の芸術があったこと、さらに阿弥号には宗教的な意味があったことに思いをはせると興味が尽きません。

さて、千利休屋敷跡の西隣には「さかい利品の杜」という会館が一年前にできていました。千利休、与謝野晶子など堺の歴史・文化の会館です。特別観覧セットというのがあり、千利休茶の湯館・与謝野晶子記念館、立礼呈茶（りゅうれいていちゃ）、さかい待庵（たいあん）特別観覧の3つがセットになって1000円でした。さかい待庵は大山崎町にある国宝の待庵を復元したものです。利休と晶子の展示をゆ

じっくり見た後、予約の時間に待ち合わせ場所に行きました。年配のおばさま 2 人と私にガイドが 1 人ついて、復元した 2 畳の茶室の中に案内してくれました。茶室は見るだけで入ったことがなかったのですが、入ってみるものですね。2 畳の茶室は、4 人でも狭さを感じずに、むしろ気持ちが落ち着きました。茶室から見るお庭は、新緑に映えて格別に素敵でした。

床の間の掛け軸には「老古錐」とありました。使い古して先の丸くなった錐という意味です。臨済禅、黄檗禅の公式サイトをみると、使い古した錐はさきが摺りへって丸くなり、角もなく無用なものとして捨てられ、忘れ去られた存在になるように、平々凡々、愚に徹した人を老古錐と云うと書いていました。利休の名の由来ですが「名利共休（みょうりとともにきゅうす）」という言葉からとされています。名利とは名聞利養のことで、名聞とは名誉が世間に広がる事、利養とは財を追い求める事、休すとは休止の意で断ち切る事です。「名利共休」とは何かと問われたら、「老古錐」と答えるということでしょうか。おばさまもガイドさんも、以前に国宝の待庵を見学されていて、茶室に詳しいおばさまとガイドさんとの大変マニアックな会話も楽しみました。でも、おばさまのお庭の灯籠が織部灯籠ですかという問いに、ガイドさんは知らないで調べてお答えしますとのことでした。たしかに、織部好みには見えました。

茶室をあとにして、立礼茶席の椅子席で抹茶と和菓子をいただきました。2 組の若いカップルがいましたが、若い女性は 2 人とも抹茶の席は初めてのようで、その日の当番の表千家の先生からお点前の解説をしてもらっていましたが、とても楽しそうでした。年配のおばさまの茶室の知識に感服した後でしたので、若い女性の初心者ぶりに、世代が変わると趣味も変わるものだと思います。東福寺の方丈でおこなわれていたコマーシャルの撮影ではお茶はペットボトルだったので、現代のお茶の飲み方はこのようであるということでしょう。

ドイツだよ！（特別編）

～ 仲良し3人 ドイツに行く パート2～

望月恵理子

前回の楽しかった同窓生4人の旅からもう1度行きたいと思って3年半、その間に母を亡くしたり、施設でお世話になることになったり、長期に家を空けられなくなったり、それぞれの理由で今回は水野恵理子・望月恵理子（恵理子さんズ）で出かけることになりました。

3月27日6：10近鉄奈良駅発の関西国際空港行きのリムジンバスで出発しました。初めて乗るエミレーツ航空にワクワクしながら、まずは腹ごしらえをして手続しました。

5時間時差のDubaiには夜明けの4：35に着き、遠くにドバイタワーも見えラウンジでは貨幣Dh（ディルハム）が理解出来ずに混乱しながらも買い物したりヨーグルトを食べて、待ち時間を過ごしました。今度は7時間時差のミュンヘンに向けて9：35に出発しました。



ミュンヘンには13：25無事到着しました。しかし、ここからが旅一番のドキドキタイムが始まります。まず、博士（水野）のスーツケースは順調に出てきたものの、SISSI（望月）のが全然出てこないのです。ただでさえ少し到着が遅くなったのでお迎えの淑子さんをお待たせしているのに、乗換えした時に何処かへ行ってしまったかと心配になりました。やっと出てきたスーツケースを持って出口に急ぐと淑子さんが見当たらない。空港のネット環境は悪く、連絡手段がない。ドキドキしながらもこれは待つしかないの諦めの境地。待つこと20分、ターミナルを間違えた淑子さんが向こうからやってきた時はホッとしました。ご主人ペーターさんの運転でWesslingのお宅ヘアアウトバーンを走り、久しぶりのドイツの景色に到着を実感しました。

さてお茶を頂きくつろいで、19時からのバイエルン州立歌劇場でのオペラ観劇に行く準備をしていた時、チケットを見ていた博士が「今日のオペラ18時開演って書いてるよ」「ええー?!」すでに17時前、慌ててペーターさんにミュンヘン市街まで送っていただくことに・・・3回目のドキドキ。何とか時間に間に合い、座席に・・・と思いきや、最後部座席は構造上凸凹の配列で、センターの席がまったく何処か見当たらない、案内の人に聞いても分からない。冷や汗たらたらでようやく着席出来たのは開演直前。もう最大のドキドキでした。でもベルディ「仮面舞踏会」は指揮が御年80歳のズービン・メータ、歌い手も舞台もコーラスも本当に素晴らしく、飛行機の疲れも忘れて聞き入りました。お客様もお洒落で、休憩中ロビーでいただいたWelcomeのワインと、雰囲気ですっかり酔ってしまいました。帰りライトアップされた市庁舎のあるMarienplatzからSバーン（地下鉄）で帰宅しました。



3月28日は時差ボケと疲れ癒しのために、Sバーンで

2 駅の Seefeld-Hechendorf で降り、小さなアウトレットでお買い物、そして駅と反対側の丘にある Seefeld (領主様のお城) まで歩きました。



門の中には映画館やお店があり、お昼は中のレストランで FrankfurterWurschent と KartoffelPuffer の久々のドイツ料理に満足しました。その後もう一度 S バーンに乗り、終点 Herrsching のシュタルンベルク湖畔をのんびり散歩し、湖脇の FischLaden (お魚屋) で夜のつまみを仕入れて帰宅しました。

3月29日、いよいよ「バイエルンチケット」を使っ

ての小旅行に出発です。バイエルン州内の電車やほとんどの地下鉄・トラム・バスを1日乗り放題(但し、朝9時以降。特急は不可)で、値段は1人当たり23ユーロ、1人増えると5ユーロ追加、グループで買えばもっとお得。近隣といってもザルツブルグ(オーストリア)までも使える何とも便利な代物で、すっかりお世話になりました。ただこの自販機が私には最後までよく分かりませんでした。9:44に出発し、車窓を楽しみながら12:20 **Nurnberg** に着きました。この日だけ生憎の小雨でしたが、もう街全体がおとぎ話の世界なのです。

ホテルのチェックインを済ませて、まず **Lorenz-Kirche** (ローレンツ教会) に入るといきなりパイプオルガンが鳴り出し、荘厳な響きを体感しました。



ゲルマン民族博物館がちょうど水曜日のみ夜9:00まで開館している、しかも無料というラッキーな情報に、5時までに **Kaiserburg** (神聖ローマ帝国の居城) の見学をすませようと、ニュールンベルグ名物焼きソーセージをお持ち帰りで購入し、坂道をほおぼりながら登るというおばさんらしからぬ行動を傘さしながらやってしまいました。ロマネスク様式の礼拝堂や塔、深さ47mの井戸など見どころ満載でした。

そして15世紀に活躍したドイツ・ルネッサンスの立役者 **AlbrechtDurerHaus** (デューラーの暮らした家) を見学しました。さっきのソーセージがあまりに美味しかったので、もう一度 **Bratwursthausle** でゆっくりビールとソーセージで休憩しました。



夜は **GermanischeNationalmuseum**(ゲルマン民族博物館)、ここはゆっくりみれば2・3日では無理のようで、写真撮影も禁止なので **Musical Instruments** のみ2時間たっぷりの見学です。ハープシコードやチェンバロの元祖からピアノまで、いろんな貴重な管弦打楽器等が数多くあり、ほんとに見飽きることがありませんでした。その中でも **DUO** 専用の1台に合体したピアノや楽器の装飾には驚きました。

3月31日、連泊のため身軽にももちろんバイエルンチケットを利用して、11世紀以降の伝統的な暮らしと景観を伝える世界遺産の街 **Bamberg** に向かいました。1時間弱で到着、朝早めの行動開始です。

「バンベルグをまだ見ていなかったら、急いで旅の支度をして、出かけよう。」

慰められない事実、火事または地震が迫り、死が訪れる前にこの町を見よう！」

フリードリッヒ・アウグスト・ジーベルト

旧市街は第2次世界大戦の戦禍を免れたドイツでは稀な街で、「バイエルンの真珠」と称えられる古都です。まずレグニッツ川の川中島に建つ旧市庁舎はロココ調に改築された半木造建物、フレスコ装飾の壁画の天使の足にはびっくりしました。

そして Dom zu Bamberg (大聖堂) は皇帝ハインリッヒ 2 世によって造営され、1012年に建堂。2回の火災で内部は焼失、1237年により大規模な今の大聖堂が作られ、17世紀以後バロック様式から新ロマネスク様式に変えられて、今日まで残っています。中でも「バンベルグの騎士」の像は品格のある芸術作品です。そのあと、大聖堂の丘の上の BambergMuseum (歴史博物館) を見学し、とても良い天気なので Sheiner's Gaststuben というお店の外のテーブルで昼食をがつつり食べました。

E.T.A.ホフマンはロマン派マルチ才能の作家ですが、彼の「黄金の壺」という作品のヒントになったという扉つまみの「りんご婆さん」を求めてアイスグルーベ14番の家を探しました。この話はまったく知らなかったもので、観光客がみんな探している訳がやっと分かりました。



突き出た足↑

「昇天祭の日の午後3時、学生はドレスデンの黒門を通り抜けると、そこに醜い老婆が籠に入ったりんごやケーキを売っていた。・・・彼は立ちどまり大きな美しいブロンズのノッカーを見つめる、彼がノッカーを握ろうとすると金属の顔をしかめ、吐き気を催させる青く燃える光が薄ら笑いを、あ、これは黒門のりんご婆さん！」

Apfel weibla

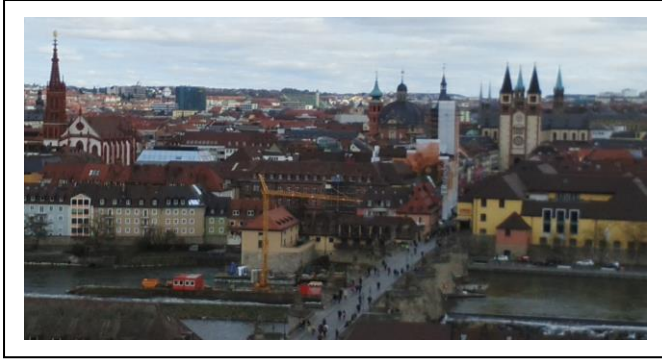


レグニッツ川の岸边は「小ベニス」と呼ばれ、地中海的な雰囲気をそのものです。ぼかぼか陽気に対岸の散歩道をぶらぶらして、Geato Caffè Bassanese でアイスクリームを食べて一休み、さすが世界遺産の町だけあって日本人ツアーのお客さんに初めて出会いました。少し早めにニュルンベルグに戻り、Karstat (デパート) の地下でワインとおつまみを買って帰り、明日に備えてシャワーも済ませて、パジャマパーティとなりました。

4月1日、またまたバイエルンチケットを買って1時間ちよつとで Würzburg へ移動です。バロック様式の建物がずらりと並び、シーボルトが生まれた地、レントゲンが放射線を発見した地としても有名な街です。まず宿泊する Stadt Mainz というホテルで荷物を預けて、いざ Residenz (領主司教の居城) へ。18世紀建造のドイツ・バロック建築の最高峰と言われています。世界最大の天井フレスコ画、金と銀で飾られた「鏡の間」特に宮殿内の Hofkirche (礼拝堂) にはうっとりしました。まだまだ見どころ満載の町なので宮殿横の Neumann (レストラン) で昼食、Dom St.Kilian (大聖堂) に急ぎました。ドイツで4番目に大きいロマネスク様式の教会ですが、真っ白な祭壇が印象的でした。

そこから旧マイン橋を渡り、35分の坂道を登って Festung Marienberg (要塞) にたどり着きます。途中

の眺めは街が一望でき、たくさんの教会の尖塔、メイン川の流れ、広いブドウ畑、本当に素晴らしい景色です。



要塞の中の Mainfränkisches Museum では数々の宝物に目の保養をし、6時の待ち合わせのためにまた坂道を下り、街の中を横断してホテルへと戻りました。途中にはマルクト広場にある Marienkapelle (聖マリア礼拝堂) を通り抜け、スーパーでお土産に中世よりその名を知られるフランケン・ワインを買いました。個性的な形のボトルが特徴で、辛口の白が有名です。

待ち合わせとは、我々の先輩だった奥田一夫さんの芸大同期で現在ビュルツブルグ音大のコントラバス科の教授である文屋充徳氏と連絡がとれて、夕食をご一緒するためなのです。待ち合わせは Alter Kranen というレストランですが、昔は船の荷揚げに使われたクレーンがビュルツブルグの川沿いのシンボルとして残っています。文屋家族はもちろん、前妻の息子さん、日本から伴奏にいらしたピアノの林さんとともに豪快なドイツ料理とビールをご馳走になり、最後は大盛りのデザートを堪能しました。当然会話はドイツ語と日本語のちゃんぽんです。ドイツの若者もしっかりスマホ愛好家、彼女の写真や動画を自慢げに見せてくれました。

4月2日、いよいよ旅の最終日。ホテルご自慢の朝食をゆっくり頂いて、ミュンヘンに帰る途中に2000年の歴史を誇る **Augustsburg** に立ち寄りしました。紀元前15年に築かれたドイツで最も古い街で、旧市街のほとんどが石畳の道の光景が広がります。まずは「黄金の間」が必見の市庁舎、その扉や格子天井・壁にまで施された装飾や壁画は豪華絢爛です。

次に目指すは **Mozart Haus**、モーツァルトのお父さんの生家は16・17世紀に建てられた町屋です。モーツァルト一家の足跡が詳しく展示されています。3時からコンサートがあるからと準備されていましたが残念！聞いている時間がありませんでした。足早に **Fuggerei** (世界最古の社会住宅街) に行きました。ここは1521年に富豪ヤコブ・フッガーが、やむを得ない事情で貧困に陥った勤勉なアウグスブルグ市民のために創設した共同住居で、現在も67棟140戸が1年間0.88ユーロの家賃で住むことが出来ます。何とも信じられない話です。モーツァルトの曾祖父も住んでいたという部屋もありました。



朝食があまりに豪華で食べ過ぎたため、目いっぱい観光してから **Dichtl** (ケーキ屋) で美味しいケーキでお腹を満たすことになりました。そのまま駅に急いで予定通りミュンヘン行の列車に乗ることが出来ました。帰りは **Pasing** で途中下車して、**S** バーンに乗り換え、無事 **Wessling** に戻りました。夜はペーターさんと共に **L'Olive** (イタリア料理) の店にでかけ、ご馳走になりました。

4日間の旅は良いお天気に恵まれたうえ、淑子さんのホテルセレクトも良く、友人とも再会出来て、素晴らしい景色とともにまた大きな思い出となりました。

4月3日、日曜日にも関わらず **S** バーンで **Marienplatz** まで行き、11:00 **Allerheiligen Hofkirche** (教会) で行われるバイエルン歌劇場オーケストラのメンバーによる室内楽のコンサートに出かけました。モーツァルトの弦楽4重奏に始まり、ペンデレツキ・ブリテン・プロコフィエフという管楽器も入った室内楽

は天井の高いお御堂によく響き、日曜日の午前中にクラシックを楽しむお客様の多さに本当に感心しました。



こんな素敵な習慣があるのはさすがです。

あまりに天気が良いので **Englischer Garten** (公園) に行こうということになり、広々とした公園内をお散歩しましたが、ミュンヘンっ子は陽気につられて本当にたくさんの人々が公園に繰り出していました。川でサーフィンをする若者、木と木にロープをかけて綱渡りをする男女、鴨と遊ぶ家族、それぞれの楽しみ方をしていましたが、やっぱり・・・

ビールですね。中国の塔周辺のビアガーデンでは多くの人で賑わっており塔の2階からは楽隊がポルカやワルツを演奏して盛り上げてくれてます。我々もちろん、HB とつまみはプレッツェル。すっかりドイツに馴染んで最後のミュンヘンを楽しみました。



帰りは **Universitat** (大学前) から **S** バーンで帰宅、その夜は淑子さんのドイツ家庭料理でドイツ最後の晩餐となりました。ペーターさんがイシュルで買ってきてくれたラムのロースト、ゆでたジャガイモには公園で摘んできた日本でいう行者にんにくを入れて、食卓を飾りました。最後の「**PROST!**」

4月4日、いよいよ帰国の日となり、淑子さん宅の1階にある **EDEKA** というお店でどっさりとお土産を買い荷造りをして、**S** バーンの駅まで見送ってくれた淑子さんとまたの独訪をお約束してお別れ、恵理子さんズはミュンヘン国際空港へ向かいました。来る時と同じルート、ドバイ経由で関西国際空港へは前回のようなトラブル(4年前は遅延でドーハで1泊することになった)もなく、順調に帰国することが出来ました。

10日間すっかりお世話になったペーターさんと淑子さん、本当にありがとうございました。

次回はまだまだ見どころ満載のドイツを4人で賑やかに旅出来ることを願って、いつまでも元気でいたいと思います。

(E・M)



marikolog

島本真梨子

島本真梨子

前回のアゴラ通信でご紹介した、読売テレビの情報番組 ten.の司会者清水健さんと、アルケミストの「約束」コンサートが終了しました。一曲一曲、私の大切な演奏仲間4人で心をこめてお手伝いさせて頂けたかなと思います。

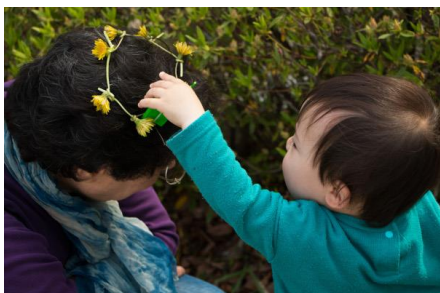
清水さんの奥様は、29歳という若さで、乳がんによりこの世を去りました。それも、生後112日しか経っていないお子さんをのこして。清水さんはトークショーで、奥様のことを書いた「112日間のママ」の出版にあたって「あの頃は無我夢中だったけど、文章にしようと思うと嫌でも立ち止まらなくては行かず、そのたびにあれで良かったのか、もっと何かしてやれたんじゃないかと、あの時よりも苦しい」と、胸の内を語っておられました。



清水さん夫妻のお子さんと、私たちの息子は半年違いではありますが同学年。楽屋ではふたりして、オムツ替えをイヤイヤしていました。かわいい二人の姿をみていたら、奈緒さんはどんなにこの成長を見たかっただろうと、どんなに抱きしめたかっただろうと胸が痛く、熱くなりました。

…そんな母の感情の高ぶりは息子に通じてはおらず、1歳なりたてホヤホヤにしてビルボードデビューの我が子、開演から終演まで寝っぱなし。もったいな～！！何しに来てん！そのくせきっと大きくなったら「オレ、ビルボードの楽屋でオッパイ飲んでんで」とドヤ顔することでしょう。

さて、次の大イベントは教室の発表会です。5/29(日)加茂文化会館アジサイホールにて11:30開演です。幼稚園生、小学生、高校生、大学生、社会人とみんなそれぞれに頑張っています。もしお近くにいらしたら、覗いてくださいね。



子供が出来る数か月前にチェロの友人と泊まった南阿蘇村が大変なことになっていて、ニュース映像は目を覆いたくなりました。

一日一日、大事にいきたいですね。また2ヶ月後の通信で元気にお目にかかれますように。

今日も、明日もみなさんにとって良い日になりますように！

あとかき

◇ 3～4月は年度末・年度初めも重なって、息をつく暇もない、といった日々を過ごしました。その中で純粋に(?)観光旅行になった10日間のドイツ訪問はまさに命の洗濯。その模様は、同行者の望月恵理子さんがドイツだより特別編で紹介してくれています。

◇ その直前、3月半ばはベトナム、ホーチミン。訪問の目的はホーチミンにある二つの大学の日本語科の学生さんたちに日本の文化を紹介するということで、これは、短大で同僚の先生が主宰しているNP0の事業の一つになっています。ベトナムでの日本語教育はとても盛んで、大学の日本語科で学ぶ学生もとても多いのです。しかも皆熱心、まじめ。今回のテーマは「こども」で、子どもに関する行事やその意味、絵本の紹介や、歌・手遊びなどを紹介しました。



日本から新聞紙を持って行って兜を折りました。街の印象は、若い人が多い・活気がある。食べ物はとても美味しく、ヘルシー、そして安い。バイクがすごく多く、通勤・通学時にタクシーに乗っていると、前後左右びっしり取り囲まれてこわいくらいでした。事故が起こらないのが不思議。



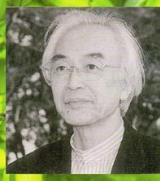
ホーチミン市師範大学の駐輪場



定番の生春巻き

◇ ベトナムの大学は始業時間が早い！師範大学は朝6時から授業があります。でも夕方は5時まで。それなのに皆目はキラキラ、居眠りする人もいないなんて信じられません。プログラム終了後、特別支援教育科を訪ねてミーティング。9月に音楽療法の集中講義をというオファーを頂きました。思いがけずベトナムとのご縁が深まりそうです。

◇ 9月11日西宮音楽療法研究会の主催で柳田邦男先生の講演会が東日本大震災の復興支援チャリティとして開催されます。オープニングはピアノの演奏。西宮市民会館、入場料は3,000円です。ぜひぜひお出掛け下さい。チケットは水野まで。(恵理子)



**柳田邦男先生をお迎えして『いのち』を考える
～遺族ケア・グリーフケア～**

人は誰でも人生を振り返ると山あり、谷ありの長編物語になっています。では大切な人を亡くし、心に空白が出来たときどう生きますでしょうか。今度は振り返るのではなく、人生の次なる章を自分で創らなければなりません。死にゆく人との数々の出会い、そのための羅針盤となっています。その多彩な光景を追うように思います。(柳田邦男)

会場 西宮市民会館アミティホール (阪神西宮駅 市役所口から1分)

オープニング 1時30分: ピアノ演奏 松本絵里子
・ショパン: バラード第1番 短調 Op.23
・ドビュッシー: 瞑想の曲
・ショパン: ノクターン第20番 嬰ハ短調 遺作

講演 1時50分: 柳田邦男先生

昭和11年生まれ。昭和35年東京大学経済学部卒業。NHK記者に。昭和40年代後半から作家活動に。災害・事故・公害や戦争、震災と医療、少年事件など現代における『いのちの危機』をテーマに取材・研究・執筆活動を続けている。最近では震災と原発事故の問題、終末医療と「死生観」、被害者の精神史、核家族化とネット社会の進行による子どもの人格形成の危機の問題などにとりくんでいる。主な受賞に、昭和54年『サンデー朝刊』で朝日新聞社ノンフィクション賞、平成7年『犠牲者(サクリファイス)の物語』で朝日新聞の11月と12月の読者投票で第3回読者投票賞などを受賞。近年に『僕は9歳の時から死と向き合ってきた』『僕らにない震災事故と「日本病」』(新潮社)、『新・がん50人の奇史』(文芸春秋)、『言葉が立ち上がる時』(平凡社)など。

【松本絵里子プロフィール】
桐朋女子高校音楽科を経て、桐朋学園大学音楽学部ピアノ科卒業。同大学研究科修了。第41回全日本学生音楽コンクールピアノ部門高校の部最優秀賞、全日本会第1位、野村賞、日本放送協会賞受賞。第5回全日本ベテランピアノ部門第2位。ピアノを丸谷雄木子、関根子、堀田美子の各氏に、室内楽を萩・江藤俊良、渡・三善晃、安永豊、市野あゆみの各氏に師事。

【一般】 3000円 【西宮音楽療法研究会会費】 2500円 全席指定・当日券はありません。
収益金は東日本大震災の義援金として送ります。後日、『西宮音楽療法研究会』のホームページにてご報告いたします。
【振込先 郵便局 記号 14390 番号 54795481 なまえ 西宮音楽療法研究会】
(チケットをお送りしますので、お振込みの後に必ずご住所をお知らせください) ※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

～ チケットお申込み ～

西宮市民会館窓口 主催 西宮音楽療法研究会

東日本大震災 復興支援チャリティー 講演会

かけがえのない学び「死を創る時代」の羅針盤

9/11日
(日)

Tel・FAX 0798-57-3177
携帯 090-8820-8051
Mail bach-partita@s3.dion.ne.jp